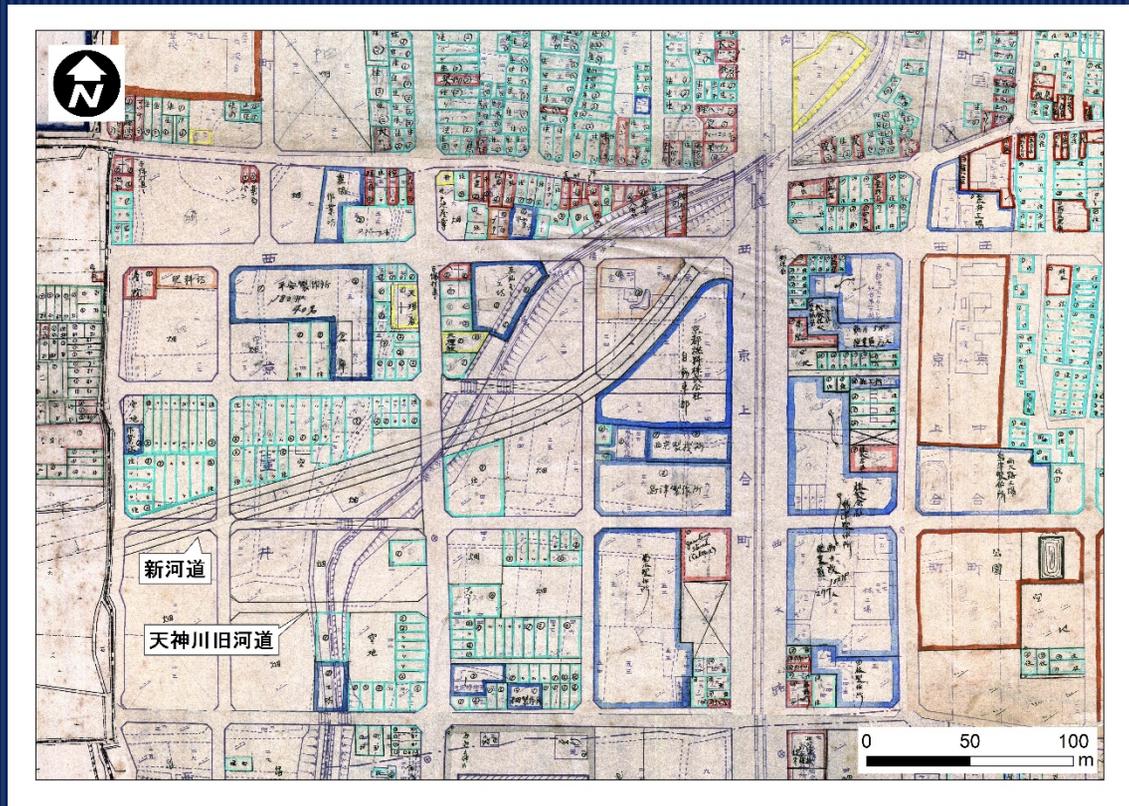


第25回 立命館大学環太平洋文明研究センター研究会



明細図』に描かれた天神川の改修
(京都府立京都学・歴史館所蔵『京都市明細図』より))

「近代京都における郊外の開発と自然環境」

講師：河角直美

(立命館大学文学部 准教授：地理学・デジタル人文学)

2019年4月26日（金） 18:00 – 19:30

立命館大学衣笠キャンパス 以学館IG405教室

近代の京都を対象として、旧市街地周辺における都市化と自然環境との関係について検討します。京都における市街地の拡大は、過去100年間の出来事に過ぎません。GISデータベース化されて蓄積されてきた京都に関わる地図類や統計などの情報を活用して、開発にともない都市に吸収されていった郊外の過去の土地利用とその変化を復原します。京都における市街地の拡大と自然環境との関係について考えます。

立命館大学環太平洋文明研究センターは「環境と文明のあり方を根本から問い直し、環太平洋地域の災害と文明の興亡を解明する」ことを目的としてつくられた人類学、環境考古学、地理学、考古学などの研究者からなる研究組織です。定例研究会には、学生、院生、教職員、どなたでもご自由に参加できます。今後、各分野の研究者が持ち回りで発表します。どうぞふるってご参加ください。

お問い合わせ先：環太平洋文明研究センター事務局075-466-3335 HP: <http://www.ritsumei.ac.jp/research/rcppc/>